

平成31年度入学試験問題

地理歴史

100点満点

《配点は、一般入試学生募集要項に記載のとおり。》

地理B (1～12ページ) 世界史B (13～28ページ)
日本史B (29～43ページ)

(注 意)

1. 問題冊子および解答冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子は表紙のほかに43ページである。また、解答冊子は表紙のほかに、地理B：12ページ、世界史B：16ページ、日本史B：8ページ、である。
3. 問題は地理B 5題、世界史B 4題、日本史B 4題である。
4. 試験開始後、選択した科目の解答冊子の表紙所定欄に学部名・受験番号・氏名をはっきり記入すること。表紙には、これら以外のことを書いてはならない。
5. 総合人間学部「文系」・文学部・教育学部「文系」・法学部「前期日程」・経済学部「文系」受験者は、地理B・世界史B・日本史Bのうちから1科目選択すること。
6. 解答は、すべて解答冊子の指定された箇所に記入すること。
7. 解答に関係のないことを書いた答案は無効にすることがある。
8. 解答冊子は、どのページも切り離してはならない。
9. 問題冊子は持ち帰ってもよいが、選択した科目の解答冊子は持ち帰ってはならない。

地 理 B

(5 問題 100 点)

I 地理B問題 (20 点)

人口の年齢構成と女性の就業に関するグラフ1・2と地図1を見て、問(1)~(4)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

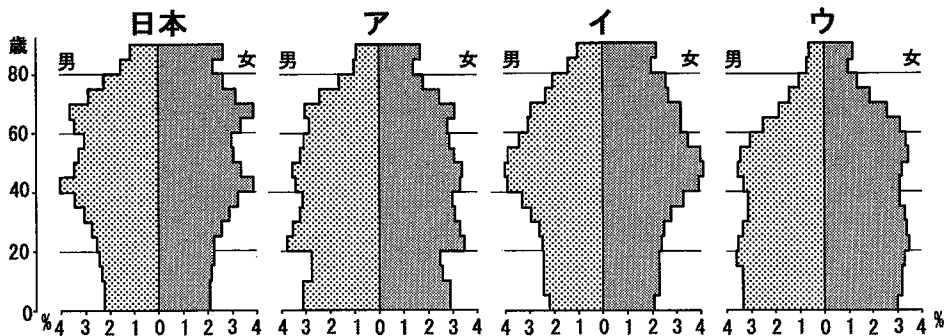
問

- (1) グラフ1は人口ピラミッドを、グラフ2は女性の年齢による就業率の推移を、日本およびア~ウの国ごとに示している。ア~ウに該当する国名を、下記から選んで、その記号を解答欄に記入せよ。

A アメリカ合衆国 B イタリア C スウェーデン

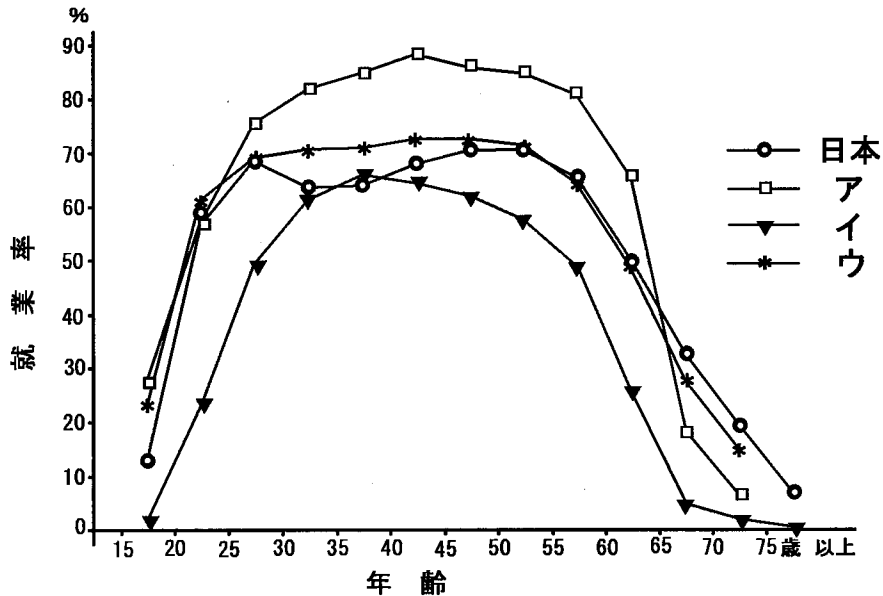
- (2) ア国が少子化の問題に対してどのように取り組んできたか、家族の支援に関する対策について、40字以内で述べよ。

グラフ1 4つの国々の人口ピラミッド(2015年)



資料：World Population Prospects 2017 (<https://esa.un.org/>)

グラフ2 4つの国々の女性の年齢別就業率(2015年)

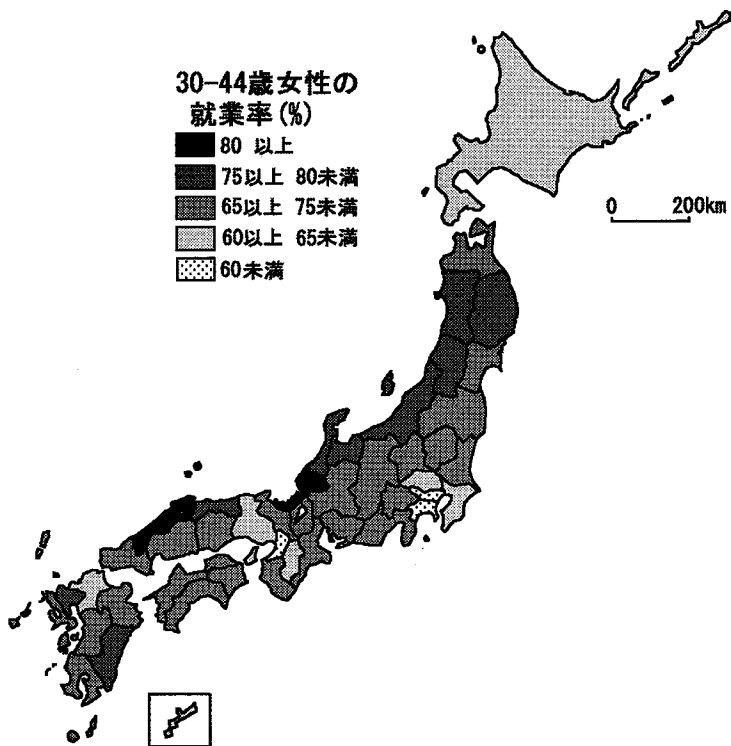


資料：日本については『平成27年 国勢調査』，その他の国々については World Population Prospects 2017 (<https://esa.un.org/>)，および OECD Database (<http://stats.oecd.org/>) を使用。

注：A国とU国の75歳以上のデータは記載されていないため，グラフに表示していない。

- (3) グラフ2について，イ国の国内における女性の就業率は，南部と北部との間で差がある。この背景にある南部と北部との間での経済的な状況の違いについて，40字以内で述べよ。
- (4) グラフ2において，日本の場合，30-44歳の年齢期では，前後の年齢期の就業率に比べて，就業率が下がる傾向がある。次ページの地図1は，都道府県別の30-44歳女性就業率を表したものである。30-44歳女性就業率が低い都道府県が集中するのはどのような特性をもった地域か，解答欄①に記入せよ。こうした地域で30-44歳女性就業率が低くなる要因の1つに，子どもの保育に関わる問題がある。その問題の内容を，40字以内で，解答欄②に述べよ。また，子どもの保育には，家族構成の問題が深く関わる。解答欄①で答えた地域とそれ以外の地域とでは，家族構成について，どのような相違があるか，解答欄③に述べよ。

地図1 都道府県別の30-44歳女性の就業率



資料：『平成27年 国勢調査』

白 紙

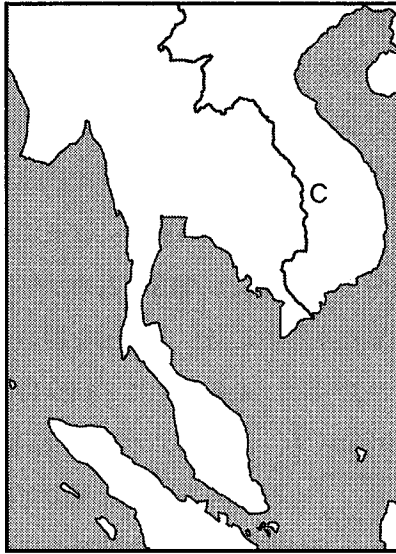
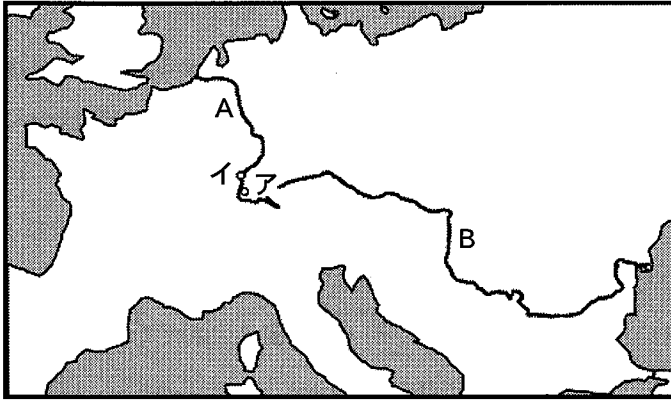
II 地理B問題

(20点)

右ページの地図の河川A～Cについて、問(1)～(5)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

問

- (1) A～Cの河川は、流域の範囲と国際条約の観点からみて共通点をもつ。この共通点について、40字以内で説明せよ。
- (2) Aの河川は、都市アや都市イ付近では、長く延びる凹地状の地形に沿って流れている。この地形の名称を何と呼ぶか、6字で答えよ。
- (3) ドイツ側の都市アは、シュヴァルツヴァルトの山麓に位置し、古くから大学が存在する大学都市である。フランス側の都市イはストラスブールである。これらの都市では、市街地への自動車乗り入れが規制され、公共交通を利用するような交通システムが採用されている。これを何と呼ぶか、解答欄①に答えよ。また、どのような目的でこのシステムが用いられているか、解答欄②に20字以内で説明せよ。
- (4) Bの河川が首都を通っている国々には、1980年代まで周辺の3つ以上の国とともに1つの国家であった国がある。かつて1つであった時代の国家の名前を、解答欄①に答えよ。また、なぜ1つの国家が3つ以上の国に分裂したのか、その理由を、解答欄②に50字以内で述べよ。
- (5) Cの河川の河口付近の地形を、解答欄①に答えよ。また、河口部が属する国名を、解答欄②に答えよ。そして、河口付近に広がる農業地帯に卓越する気候の特徴について、解答欄③に30字以内で説明せよ。



Ⅲ 地理B問題

(20点)

世界の農業についての以下の文を読み、問(1)~(4)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

人が生きていくためには食料が必要であり、食料獲得の方法として農業は主要なものである。農業のやり方は地域ごとに異なるが、地理学者 **ア** は、労働・経営の集約度や作物と **イ** の組み合わせなどに基づき世界の農業地域区分を行い、これは修正を加えられながら今日でも用いられている。

この区分のうち、ヨーロッパで行われている混合農業は、中世以来の三圃式農業から発展した。三圃式農業は冬作物・夏作物・**ウ** のために耕地を三分して入れ替えながら耕作する **エ** を行うものである。

これに対し、東アジア・東南アジア・南アジアの多くは、**オ** に分類され、米の栽培が盛んである。日本などにおける米の栽培は、ヨーロッパの農業とは異なる特色がある。たとえば、米の栽培には主に水田を用い、水田に水を供給するために、ため池や水路のような灌漑設備が付属する。ヨーロッパの混合農業が **エ** を基本とするのに対し、水田を用いた米の栽培は連作が可能であり、気候などの条件が許せば、米を1年に2回作付けする **カ** も可能である。混合農業では作物と **イ** の組み合わせが重要であるのに対し、**オ** では **イ** との組み合わせは必須ではない。

農業は食料を生産するだけでなく、その他の生活物資の原料を生産する。綿花のような繊維原料が栽培される一方、絹の原料である繭^{まゆ}をつくる **キ**^a の餌となる **ク** が栽培される。大航海時代以降に世界で広く栽培されるようになった作物もあり、工業素材である天然ゴムのように原産地と現在の主要な生産地域^bが異なっている作物もある。

問

- (1) ア から ク に当てはまる語句を答えよ。
- (2) 下線部 a に関連して、下の表は世界の綿花の生産国(上位 8 か国)と輸入国・輸出国(それぞれ上位 3 か国)を示したものである。X, Y, Z に当てはまる国名を以下から選んで答えよ。

アメリカ合衆国 アルゼンチン ウズベキスタン
 カナダ 中 国

- (3) 表の中の Z の国とその周辺地域では、綿花など農産物を増産するために、灌漑事業が行われた。この灌漑で取水された 2 つの川の名前を解答欄①に記し、その結果生じた環境問題について、解答欄②に 40 字以内で述べよ。
- (4) 下線部 b に関連して、天然ゴムの原産地を解答欄①に、現在の主要な生産地域を解答欄②に答えよ。①および②の地域名は以下の語句から選ぶこと。また、この 2 つの地域に共通する気候の特徴を解答欄③に答えよ。

東南アジア 南アジア 西アジア
 サハラ以南アフリカ 南アメリカ オーストラリア

表

世界の国別綿花生産量 (単位 千 t : 2014 年)	
インド	6,188
X	6,178
Y	3,593
パキスタン	2,374
ブラジル	1,412
Z	1,107
オーストラリア	885
トルコ	846

世界の国別綿花輸入量 (単位 千 t : 2014 年)	
X	2,439
トルコ	913
インドネシア	705

世界の国別綿花輸出品 (単位 千 t : 2014 年)	
Y	2,168
インド	1,528
オーストラリア	899

資料 : FAOSTAT (<http://www.fao.org/faostat/>)

IV

地理B問題

(20点)

大気汚染に関する以下の文を読んで、問(1)~(5)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については、句読点も字数に含めよ。

大気は循環することから、その問題も様々なスケールにおいて生じる。地球スケールの問題として、温暖化に先立って注目を集めたのがフロンによるオゾン層の破壊であった。夢の物質としてひろく使われていたフロンが、オゾン層を破壊することが科学的に解明され、ア 上空のオゾンホールが観測されたことで、1987年にフロンの使用削減にむけた国際的な取り決めが結ばれた。

国家を超えたスケールの問題として越境する大気汚染がある。ヨーロッパの酸性雨は1970年代に問題化したが、その原因となるイ や硫黄酸化物は、一国で削減すれば解決するというものではなかった。最近ではシンガポールやマレーシアに、スマトラ島の森林伐採にともなう野焼きの煙が到達し、市民生活に影響している。また中国で発生した大気汚染物質は韓国や日本に達して、日中に屋外での活動の制限が求められるウ の発生を促進している。

問

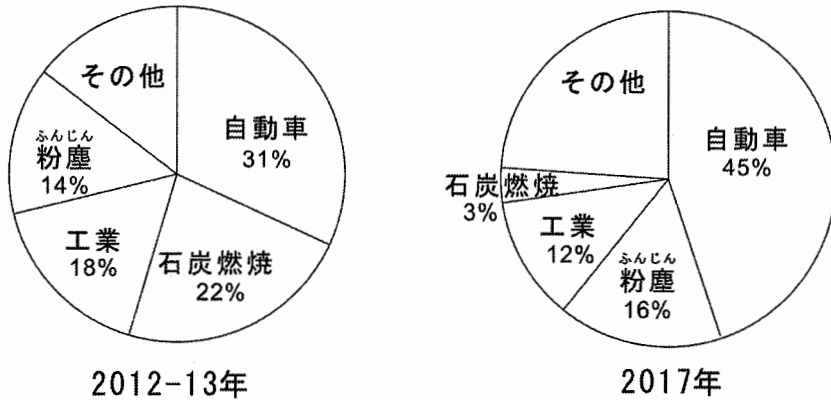
- (1) 文中の空欄ア~ウに、当てはまる語句を答えよ。
- (2) 下線部aの国際的な取り決めの名称を答えよ。
- (3) 下線部bについて、酸性雨の原因となる硫黄酸化物の年間排出量と年間沈着量を国別に示した次の表を見て、ヨーロッパにおける越境汚染の状況とそれを引き起こした自然的要因について、40字以内で述べよ。

	イギリス	オーストリア	オランダ	スウェーデン	デンマーク	西ドイツ	フィンランド	フランス	ベルギー
排出量	1,271	47	115	79	121	823	101	721	202
沈着量	702	207	139	307	83	821	210	760	121

資料：D. Newbery (1990) Acid rain. *Economic Policy*, 11.

注：数値は硫黄分に換算したもの。統計年次は1987年。単位は千t。

- (4) 下線部 c について、スマトラ島の野焼きの多くは、プランテーションの開発のためであると考えられている。このプランテーションで主に栽培される植物は何か、解答欄①に答えよ。また、この植物の果実は何に加工され、それが日本でどのように使用されているか、解答欄②に 30 字以内で述べよ。
- (5) 下線部 d について、中国の北京では PM 2.5 (微小粒子状物質) の深刻な大気汚染が発生している。下のグラフは、北京市内の PM 2.5 の発生源について 2012-13 年と 2017 年とを比較したものである。この 5 年間で北京の大気汚染はやや改善する傾向にある。このグラフを見て、北京における都市生活の変化と大気汚染の対策について、40 字以内で述べよ。



資料：北京市環境保護局 (<http://bjepb.gov.cn/>)

V

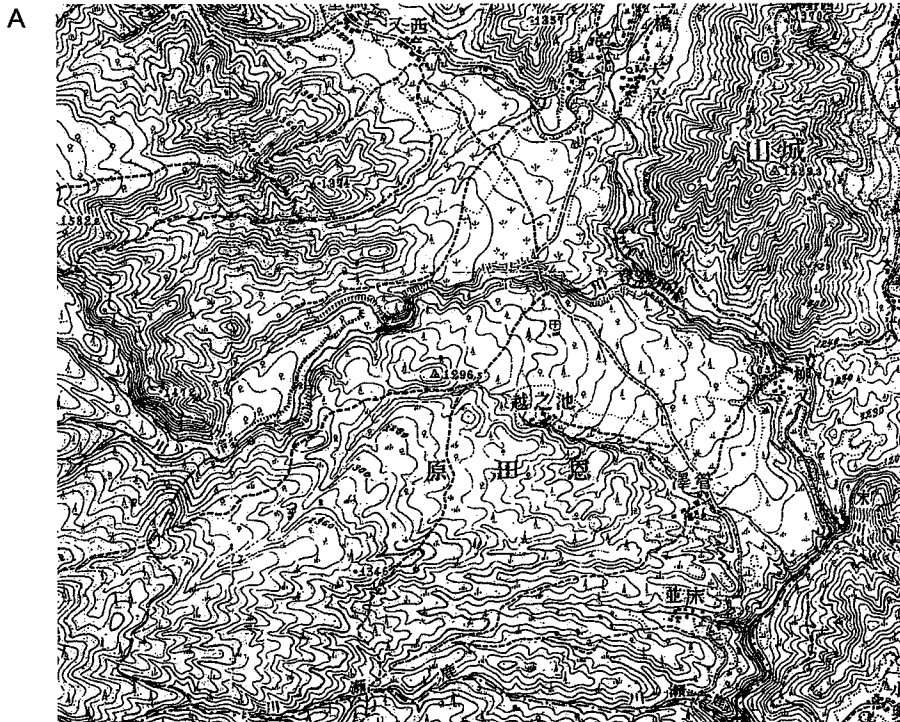
地理B問題

(20点)

下のA(大正元年発行)と右ページのB(平成22年発行,一部改変)は,長野県西南の御嶽山東麓の地形図である。ただしAの等高線には補助曲線も描かれた箇所があり,地図記号は現在と異なるものがある。これらの地形図を見て,問(1)~(3)に答えよ。解答はすべて所定の解答欄に記入せよ。字数制限のある問については,句読点も字数に含めよ。

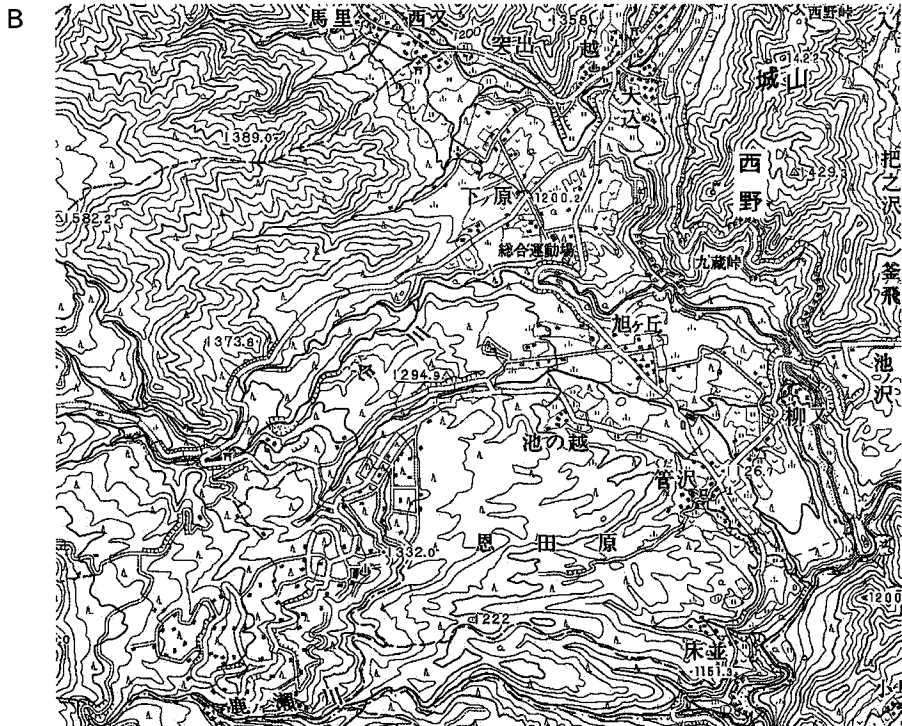
問

- (1) 図中の集落のうち,池の越(池之越)と管沢(管澤)は,旭ヶ丘と下ノ原よりも古くからみられる。池の越・管沢集落が先に成立した地形上の理由について,この2集落の間に水田がみられることに留意して,解答欄①に述べよ。また,Bの時点での旭ヶ丘・下ノ原集落における農地の特徴を,地形との関わりに留意して,解答欄②に述べよ。



◀ 田 ▶ 草地 ✦ 矮松地(樹高の低い松林)

- (2) 池の越(池之越)の南に位置する恩田原(恩田ノ原)からその南方の鹿ノ瀬川にかけて、Aの時点でどのような植生がみられたか、またそれがBの時点までにどのように変化したか、解答欄①に答えよ。また、こうした植生の変化は日本の各地で生じたものであり、山の利用のあり方が変化したことを反映している。それはどのような変化であったか、解答欄②に30字以内で答えよ。
- (3) AからBの間に恩田原(恩田ノ原)の西側で造成された住宅地と道路の形態的な特徴について、解答欄①に答えよ。また、この住宅地の性質や目的は主にどのようなものと考えられるか、住宅地内の土地利用や特徴的な施設に留意して、解答欄②に30字以内で述べよ。



地理B問題は、このページで終わりである。